

# 水害多発の時代に命を守る 滋賀県流域治水 条例の挑戦から



嘉田由紀子

かだ・ゆきこ 参議院議員。前滋賀県知事。農学博士。京都大学大学院博士後期課程修了。著書に『滋賀県発！持続可能社会への挑戦・科学と政策をつなぐ』（共著、昭和堂）、「命をつなぐ政治を求めて―人口減少・災害多発時代に対する〈新しい答え〉」（風媒社）など多数。

水害被災地の調査をする筆者



世界 SEKAI 2020.3

## 水害の時代

――二〇一九年、日本は猛烈な台風に連続的に襲われ、河川氾濫などにより各地に大きな被害が出ました。気候変動の進行によって今後さらなる気候の不安定化は避けられません。こうした状況のもと、旧来型の公共事業の象

徴的存在として見直しが課題となってきたダムをめぐり、再びその役割を再評価する動きも強まっています。ダムが気候変動時代の解答であるのか、滋賀県知事としてダム建設見直しに先鞭をつけ、現在は国会議員として、新たな水害対策を提唱されている嘉田さんにかがいます。

嘉田 近年、気候変動の影響などで日本の雨の降り方は大きく変化しています。この三〇年間で、時間雨量が五〇ミリを上回る大雨の発生件数は約一・四倍に、八〇ミリを超える「猛烈な雨」は約一・七倍に、さらに時間雨量が一〇〇ミリを超える豪雨の発生回数も約一・七倍に増加しています。二〇一八年には、「観測史上最大」という雨量が西日本の一二三カ所で、二〇一九年には一〇三カ所で計測されました。合計で二二六カ所です。本当に大変な時代に入ったと思います。ご指摘のように、水害が激発する中で、ダム建設を再評価する動きも出てきています。日本にはすでに二五〇〇を超える多目的ダムが造成され、いまだ建設・計画中のダムも二〇〇近くあります。気候変動の時代に、ダムが水害の発生を完全にとめることができるのか。その問題を考えるために、まず、私が滋賀県知事の時に、さまざまな反対を押し切ってダム建設を凍結・中止した理由を四点、お話ししたいと思います。

ひとつは、ダム物理的な限界にかかわる問題です。そのダムの治水貯水量がたとえば三〇〇万トンだったとしても、大雨の場合に水が流入してきても、三〇〇万トンまでならば貯水できます。ダムは効果的です。二〇一八年の西日本豪雨では二一三ダムが洪水調節を実施しました。しかし、流入する水量がそれを超えたときには、「異常洪水時防災操作」で、入ってくる水量をそのまま放流するしかありません。二〇一八年では八ダムが「異常洪水時防災操作」を行なわざるを得ませんでした。具体的な例で言えば、住民五人が命を落とした愛媛県西予市肱川の野村ダムの事例があります。二〇一八年七月七日未明、西日本豪雨の影響で貯水量が急増して、朝六時二〇分には満水になり、緊急放流がなされました。急激に放流量が増えたため、肱川が溢れダム直下の野村町全体が水にのまれ、家屋浸水だけでなく人命が奪われる大きな被害をもたらしたのです。

私は現地で調査しましたが、現地では

「ダム津波」と呼ばれていました。水の流入量は、ピーク時には過去最高の二・四倍にあたる毎秒約一九四〇立方メートルにまで増えました。物理的な限界を超えて、一気に放流をせざるをえなくなりました。まさにダム津波です。二〇一九年の一九号台風では一四六ダムが洪水調節を行ない、そこでは効果があったわけですが、残念ながらそのうち六ダムが「異常洪水時防災操作」を行なわざるを得ませんでした。

二つ目の問題として、ダムがもたらす社会的影響が被害を増幅してしまうおそれがあります。私自身も知事時代に「ダムを建設して人命を救うべき知事が、なぜダム建設を中止するのか」と言われてきました。実際には「ダムさえあればいかなる大雨でも枕を高くして眠れる」という喧伝と思ひ込みによって、堤防強化や河川改修などその他の対策がとられにくく、いざという時にも避難が遅れてしまうなどの社会的副作用が心配です。

巨額のダム投資のため、河川改修などに

回す財源が不足してしまうという予算配分の問題も、財政難にあえぐ自治体での切実な問題でもあります。

三点目は、ダム建設は地域社会への影響が大きいということです。先祖伝来の土地を離れさせられる人たちの苦しみに配慮できるでしょうか？ 特にダム以外の治水手段がある場合、ダム水没予定地域の人たちの納得はなかなか得られません。長崎県の石木ダムなどその典型です。

四点目は、河川環境への影響や生態系破壊の問題です。この点については多くの方がすでにご存知と思いますが、人口減少時代には人間の都合ばかりで国土開発をするのではなく、長らくこの国土に住まいしてきた先住生き物である淡水魚や水生生物の絶滅などを防ぐこと、「生物多様性の保全」が多くの国民の皆さんの願いではないでしょうか。

### 地域住民による水害対策

——二五〇〇以上もあるダムの多くは、気候が不安定化することを想定せずに作られてい